

クオリティインディケーター(QI)成果報告

〔小児循環器内科〕

指標名

先天性心疾患に対する心臓カテーテル治療の件数（年間）

目標・ゴール

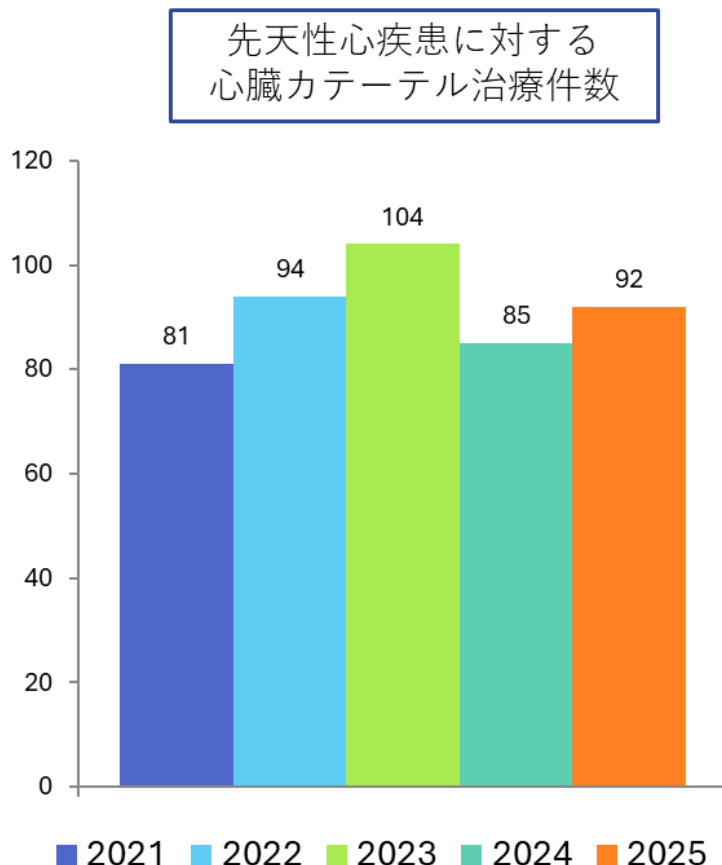
先天性心疾患に対する心臓カテーテル治療件数 100 件/年以上

目標・ゴール達成による効果

専門性の高い心臓カテーテル治療を数多く実施していることを外部に提示できる。

他施設から治療のため紹介いただく際の指標として提示出来る

目標・ゴールに対する成果の状況



先天性心疾患に対する心臓カテーテル治療の件数 92 件（2025 年）

少子化の影響もあり、日本全国の施設で先天性心疾患の入院件数は減少している。

2021 年 81 件、2022 年 94 件、2023 年 104 件、2024 年 85 件
2024 年は減少に転じたが、2025 年は回復傾向である。

目標・ゴール達成度

※該当項目に☑をつけてください

- ☐S :大幅に目標を上回った
- ☐A⁺:目標を多少上回って達成
- ☐A :目標を達成
- ☒B⁺:目標を少し下回った
- ☐B :目標を下回った
- ☐C :目標を大幅に下回った
- ☐ー :外的要因により継続困難となった。

目標・ゴールの課題・改善策

認定施設限定の治療である、経皮的心房中隔閉鎖術と経皮的動脈管閉鎖術に加え、新規治療である肺動脈弁閉鎖不全に対する経皮的肺動脈弁留置術や未熟児動脈管開存症に対する経皮的動脈管閉鎖術の普及に努める。近隣施設への連携強化を図りつつ、今後更なる症例の増加を図る。